

記 事

◎第11回理事会(昭.26.3.7)出席者:三浦会長,稲浦副会長,佐藤,塩沢,北村,国分,奥田,米元,市浦,丸安の各理事

協議事項:(1)文部省大学学術局長から学術雑誌の国際交換についての照会に対し,印度シイブラ研究所と交換の件承認。(2)本部事業計画案中(イ)四ツ木橋見学を6月とし,(ロ)12月の米国映画を4月中とする。(3)工業技術庁の構造用鋼材規格委員会委員に青木楠男,平井敦,猪瀬寧雄,友永和夫の4氏を推薦すること。(4)熔接協会の熔接部X線検査規格原案作成委員会委員に奥村敏恵,田中五郎の両氏を推薦すること。(5)建設省管理局長からの「土地収用法の改正について」意見提出方照会については次回に研討のこと(6)北海道支部開催の研究発表会講演を「土木学会論文集」として発行したとき趣き問合せに対しては,「土木学会北海道支部講演集土木学会発行」とするよう回答のことに決定。(7)朝日新聞,朝日科学奨励金に関する候補推薦については国分理事に一任のこと。(8)吉田前会長申出による建築基準法中「特殊構造物として瓦斯タンクの如きもの設計計算法」に関しての地方自治庁の認可取扱については稲浦副会長研究調査のこと。(9)関東地区常議員改選選衛委員長に沼田政矩氏を推すこと。(10)財源となる事業対策を各理事研究のこと。(11)会員入退会承認。

◎第12回理事会(昭.26.3.17)出席者,三浦会長,大西,稲浦副会長,佐藤,西松,北村,国分,奥田,米元,丸安の各理事

協議事項:(1)丸善出版KKから「土木工学便覧」出版要望に対しては計画の詳細をたゞし,同時に土木工学叢書について委員会で協議すること。(2)W.C. Lowdermilk氏の講演依頼の件は稲浦副会長に連絡一任すること。(3)会費増額は正員500円を600円とすることとし,経理部で予算案を再検討すること。(4)従来会費滞納1ヶ年以上のとき会誌の発送を停止していたが時局に鑑み,6ヶ月滞納者には会誌の発送を停止することとし,次回常議員会に了解を得ること。(5)学会の基礎を強固にするため官公庁,地方鉄道,建設業者その他に特別会員入会を勧誘すること。(6)26年度事業としてパンフレット発行については国分理事計画立案のこと。(7)名誉員推薦候補者について種々協議した。(8)26年度予算案は会費の増額,印刷費,営繕費,欠損補填金等審議の結果,経理部長再検討の上常議員会に提出する原案作製のこと。

◎常議員会(昭.26.3.29)出席者:三浦会長,大西副会長,那波前会長,安芸名誉員,後藤,野中,福田,巻内,宮崎,八十島,米元,内田(東北)比企野(中部)藤田代,浅野(中部)の各常議員,委任状18名計30名で常議員会成立,佐藤,西松,市浦の各理事

議事:(1)昭和26年度事業計画案一原案通り可決(2)規則第12条の中,正員の会費500円を26年度から600円に値上改正の件一提案承認。(3)定款第12条「正員で会費の納付を怠つたときは会誌,新聞その

他の刊行物の発送を受けぬことがある」とあるが「会費の納付を怠つた期間を6ヶ月とする」ことに了解を得たこと一提案通りの承認。(4)昭和26年度予算案一原案通り可決。

その他:(1)藤田議員(代浅野)から正員と准員の資格のちがいについて質問があつた一准員には役員の被選挙権がない,その他にちがいはない。(2)宮崎議員から会費徴収方法の有効な処置について発言があつた一目下のところ集金郵便が有効と思われるが制度がないために依然在来の方法によらざるを得ない。この際更に班組織の拡張を計るようにする。(3)会員名簿刊行の時期は10月現在の会員によつて年末に刊行すること。(4)八十島議員発言一土木学生会が自然消滅の形となつて居る。土木学会がリードして復活することを考えられたい。一同賛成。(5)通常々議員会開催の日取り,5月24日と予定する。

◎各種委員会

(1)第1回土木賞委員会(昭.26.3.5)出席者:三浦会長,大西副会長,奥田,米元両理事,田中,小宅当山,福田,堀越,最上,吉田,大坪,内田,比企野石原の各委員。

協議事項:(1)委員長に田中豊氏を推すことに吉田氏から提案満場一致可決。田中氏委員長となり議事進行。(2)土木賞の数は大体学会賞2,奨励賞1と決定(3)奥田理事から編集委員会で予め選定した論文を発表(学会賞候補8編,奨励賞候補4編)(4)奥田理事に於て選定理由を審査者から求め,これを各委員に学会から送附し3月22日までに優秀論文に○印を附して返送して貰うこと。(これを田中委員長立会の下に開票する)(5)○印を付ける論文数は学会賞候補として4,奨励賞候補として2とする。(6)次回委員会を3月28日開催すること。

(2)第2回土木賞委員会(昭.26.3.28)出席者:(関東)田中委員長,当山,堀越,本間,最上,吉田(東北)内田,(中部)比企野,(関西)石原,(学会側)三浦,稲浦,奥田,米元の各委員計13名。各委員からの投票結果を報告し,各委員から各論文に対する意見を述べられ慎重審議の上再度投票の結果,下記の論文を土木賞授賞論文と決定し,田中委員長から會長に報告した。

記

学会賞:路盤の支持力に関する土質力学的研究

正員 工博 谷藤三三

新旧コンクリートの打継目に関する研究

" " 国分正胤

奨励賞:網代港埋没に関する飛砂の影響について

准員 岩垣雄一

(3)編集委員会(3.19)出席者:奥田委員長,米元副委員長外各委員。

協議事項:(1)寄稿原稿の審査,(2)第36巻第5号登載論文を下記の通り決定。(3)原稿依頼先を打合せ。(4)6号以降の講座としてダムに関するものを登載のこと。

久宝保：沖積地における河川流について（第1報）、渡邊隆：電気伝導度による輻圧効果の迅速測定法、佐田悦二：唐津港石炭積出施設工事報告、嶋祐之：滲透流に関する Hele-shaw の実験の応用、川上暢夫：鉄筋コンクリート固定アーチ設計々算の一方法、福田武雄、菊池洋一：プレートガーダー架換機に使用した高力アルミニウム合金部材の設計について、矢野勝正：印度の河川について、林泰造：米国のマサチューセッツ工科大学の学制と学生々活の概観、岡田清：鉄筋コンクリートはりのクリープ応力近似計算法、

(4) 用語委員会 (昭26.3.2, 16 及び 30) 出席者：福田委員長外各委員及び久保幹事

協議事項：土質、都市計画、発電水力、上下水道関係用語について審議した。

◎その他

(1) 科学普及について T S C 会長からの照会 (3.22 受付)

純粋学問の研究討論の場である各学会が相当の関心を教育技術の面にふり向け、科学の方法と成果の核心を端的に理解させる工夫方策を研究討論されて、研究と教育の融合を達成する様、学会の事業の一つとして科学教育の面をとり上げることを切望する。(3月3日第9回総会における希望事項である。)

(2) 日本技術士会設立準備委員打合せ (3.19 会長、書記長出席)

設立趣旨の説明があり、定款、報酬規程、資格規程、服務規程等逐条審議し、各人から活潑な討論があつたが設立に関しては万場一致賛成、尙準備委員で研

究の上早急に発足するようにしたいと委員長が述べて閉会。

(3) 文部省科学研究費配分打合せ (3.20) 出席者：三浦会長、吉田、大坪両会員、酒井(北大)今野(東北大)最上(東大)星塾(生技)比企野(名大)小西(京大)安宅(阪大)新郷(熊大)米屋(早大)巻内(日大)文部省小泉事務官、国分理事、中川書記長、榀箸庶務主任

会長挨拶の後、吉田 J S C 会員より J S C の経過及び配分の方針、等の説明あり、特に今回は1口5万円以上とし、重点的に配分する方針であると強調せられ配分案の説明後各地方毎の代表者が案を持ち寄り研討の結果、配分の成案が得られた。

(4) The Institution of Civil Engineers (London) では来る6月4~15日に機械、電気の Institutions との Joint Engineering Conference を開催するとの事。

(5) 日本セメント技術協会では5月15~18日第5回セメント技術大会を開催し、多数の講演がある。(一般公開、工業クラブにおいて)

(6) アメリカ土木学会長 Mr. Gail A. Hathaway 訪日に対し同学会理事会で次のような感謝決議をしたと Mr. W.N. Carey から鄭重な礼状に接した。
RESOLUTION: That the Board of Direction of the American Society of Civil Engineers hereby expresses its sincere appreciation to the officers and members of the Japan Society of Civil Engineers.

3 月 入 退 会 報 告

- 1. 入 会 67 名 (正員 14, 准員 35, 学生員 18)
- 2. 復 活 16 名 (正員 15, 准員 1)
- 3. 退 会 6 名 (正員 2, 准員 4)
- 4. 死 亡 4 名 (正員 1, 准員 3)
- 5. 転 格 107 名 (准員より正員へ 107)
- 6. 昭和 24 年度会員名簿に重複記載してあるため削除 4 名 (正員 2, 准員 2)

会 員 現 在 数 (昭. 26.3.31 現在)

名誉員	賛助員	特別員	正員	准員	学生員	計
12	15	153	36	5496	982	10282

下記の4氏が逝去され学会に通知がありました。本会は茲に深甚なる哀悼の意を表します。

正員 黒江 重君, 准員 伊藤 正男君, 田中 耕也君, 嘉永 勝一君

昭和 26 年 4 月 25 日 印刷 土木学会誌 定価 80 円

昭和 26 年 4 月 30 日 発行 第 36 卷 第 4 号

編集兼発行者 東京都千代田区大手町 2 丁目 4 番地 中 川 一 美
印刷者 東京都港区溜池町 5 番地 大 沼 正 吉
印刷所 東京都港区溜池町 5 番地 株式会社 技 報 堂

東京都中央局区内千代田区大手町 2 丁目 4 番地 電話丸の内(23)3945番

発行所 駐 蘭 土 木 学 会 振替東京16828番